

「がん」治療に関する調査 (分子標的薬浸透状況)

2017/03/

Rakuten Research

General Research Group

Medical Team

がん治療に関する調査

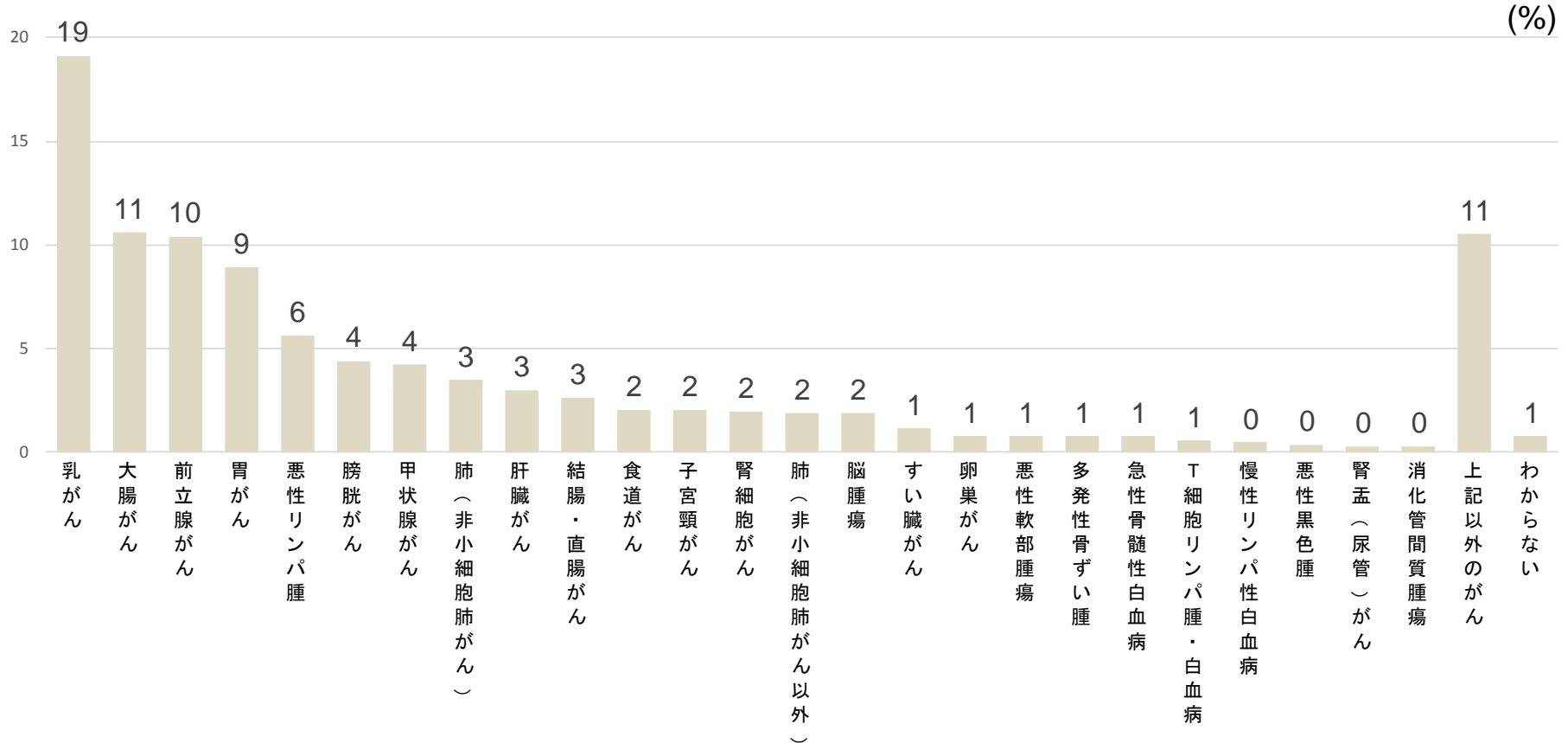
- 楽天リサーチ株式会社(本社:東京都世田谷区、代表取締役社長:田村篤司、以下「楽天リサーチ」)は、「『がん』治療に関する調査」をインターネットで実施しました。今回の調査は、「がん」治療のうち、特に分子標的薬について、患者さんを対象に行いました。
- 調査期間、調査対象は以下の通り。
 - ◆ 調査期間:2017年2月
 - ◆ 調査対象:ここ半年間に「がん」で医師の治療を受けた20~60代男女
 - ◆ 調査地域:全国
 - ◆ サンプルサイズ:1,066

■ □調査結果概要□ ■

- **分子標的薬の浸透状況:薬剤名を聞いたことがある患者が多いのは、[肺がん]、[乳がん]、[肝臓がん]の順。**
- **製品名では、「オプジーボ」「イレッサ」はがん種に関わらず認知度が高い。**
 - 直近の診断癌種[肺/乳/肝臓/大腸/甲状腺/胃]がん患者において、「分子標的薬」の名前を「聞いたことがある」患者が最も多いのは[肺がん]患者65%、次いで[乳がん]患者54%(P5)
 - 「医師の説明を受けたことがある」のは、[肺がん]患者49%が最も多く、次いで[肝臓がん]28%(P5)
 - 「現在服薬している」のは、[肺がん]患者22%が最も多く、次いで[大腸がん]10% (P5)
 - 「オプジーボ」「イレッサ」は、どの癌腫の患者でも「聞いたことがある」で上位3位までに挙げた。(P6)
 - 現在服薬している薬剤では、「タルセバ」が肺がん患者の8%(37人中3人)で最も多く、次いで肝臓がんの「アービタックス」、大腸がんの「アバステン」が5~6%。「オプジーボ」服薬は肺がん、胃がん患者でそれぞれ1人回答があった。(P9)
- **薬剤の説明において、副作用、効果は説明の比重が高いが3~4割は説明に満足していない可能性。**
 - 分子標的薬を「現在服薬している」患者72人が薬剤について受けた説明は、「副作用」「効果」が8割台、「今後の治療の流れ」「薬の服薬継続期間」が5割台、「他剤選択肢の説明」4割台、「費用」3割台。(P10)
 - 説明に対して「わかりやすい」「信頼できる説明だった」と回答されたのは、「副作用」「効果」が全体の6~7割台であり、3~4割は同意しなかった。(P10)
- **長期服薬継続、重い治療費負担を強いられる患者が少なくない。**
 - 分子標的薬の服薬継続期間は、4割が「1年以上」と回答。(P11)
 - 医療費は、「月額5万円以上」が53%で半数を超える一方、医療費等が還付される保険等に加入していたのは6割であった。(「1年以上」継続服薬者29名のうち、「月5万円以上」は9人、「3万円以上」まで含めると23人。また、23人中保険等の加入を回答したのは11人)(P12)

回答者属性

■回答者の直近がん種出現率

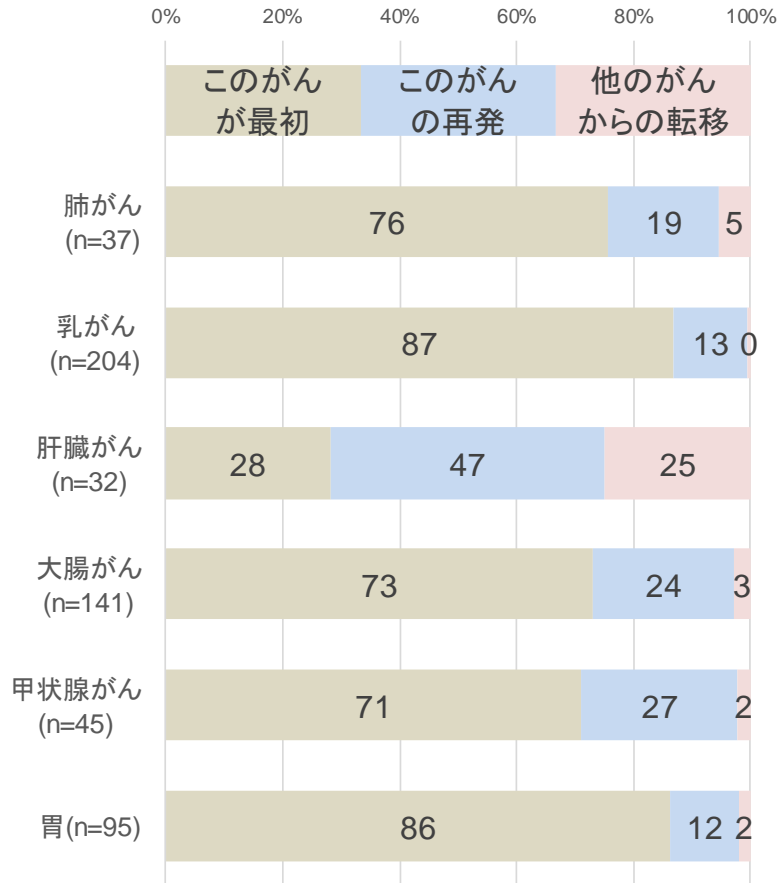


■ 基数:ここ半年間に、医師の治療を受けた病気や症状で「がん」回答者;n=1,066

Q.あなたがここ半年間に治療を受けた、がんの種類を教えてください。※複数ある場合は、直近の治療の対象となった種類を教えてください。

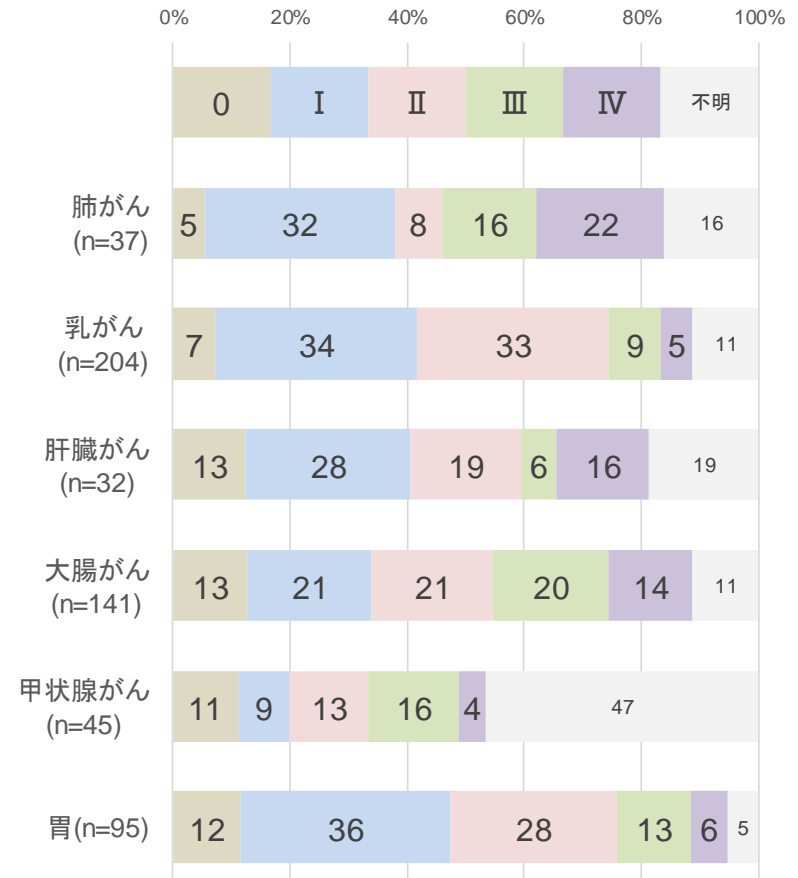
回答者属性

■直近のがん診断の種類



Q3.あなたがここ半年間に治療を受けた「[Q2 回答]」は、下記のどれにあてはまりますか。

■直近のがんのステージ

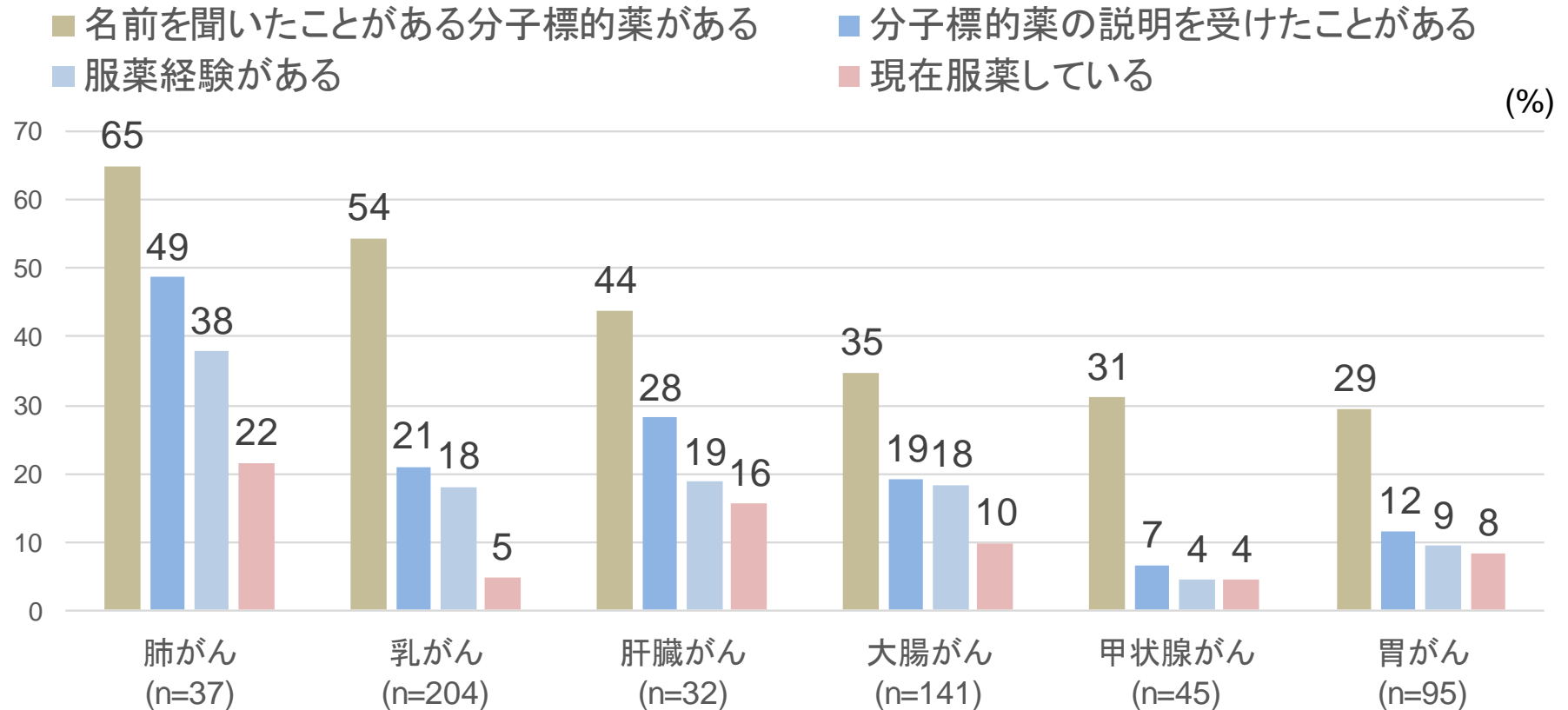


Q4.あなたがここ半年間に治療を受けた「[Q2 回答]」の「ステージ」にあてはまるものを選びください。※ステージのA、B、Cなどはここではお考えにならずにお答えください。

■基数：ここ半年間に、医師の治療を受けた病気や症状で「がん」回答者のうち、n=30以上の癌種回答者（ただし、分子標的薬の適応がないがん種を除く）

分子標的薬の認知・服薬状況

- 分子標的薬の薬剤名認知者は、[肺がん]患者が最多で65%、[胃がん]患者が最少で29%
- 現在服薬している患者が多いのは、「肺がん」が22%、次いで「肝臓がん」16%



※癌種は直近の回答癌種。

■ 基数：n=30以上の癌種回答者

Q. 下記の項目にあてはまる、がんを治療するための「分子標的治療薬」の薬剤名をお選びください。(いくつでも)

「名前を聞いたことがある」分子標的薬

- 過去、最近に話題に上った「オプジーボ」「イレッサ」は、患者の癌種を問わずTop3に入った。

■「名前を聞いたことがある」薬剤上位3回答

直近の癌種	回答率1位	(%)	回答率2位	(%)	回答率3位	(%)
大腸がん (n=141)	オプジーボ	24	アバスチン	20	イレッサ	13
胃(n=95)	オプジーボ	21	イレッサ	20	アバスチン、アービタックス、 ザイラムザ	5
肺がん (n=37)	イレッサ	51	オプジーボ	49	アバスチン、タルセバ	22
乳がん (n=204)	ハーセプチン	41	オプジーボ	26	イレッサ	21
肝臓がん (n=32)	オプジーボ	31	イレッサ	22	アバスチン	13
甲状腺がん (n=45)	イレッサ	20	オプジーボ	18	ネクサバール	11

■ 基数: n=30以上の癌種回答者

Q. 下記の項目にあてはまる、がんを治療するための「分子標的治療薬」の薬剤名をお選びください。(いくつでも)

※ 薬剤名は、「製品名(一般名)」で表示しています。【あなたが「名前を聞いたことがある」くすり】

「医師から説明を受けたことがある」分子標的薬

- 説明を受けたことがある薬剤は適応症を有する薬剤に絞られてくる。

■「医師から説明を受けたことがある」薬剤上位3回答

直近の癌種	回答率1位	(%)	回答率2位	(%)	回答率3位	(%)
大腸がん (n=141)	アバスチン	16	アービタックス、ベクティビックス	4		
胃(n=95)	ザイラムザ	5	アーゼラ、アバスチン、 オプジーボ	3		
肺がん (n=37)	イレッサ、オプジーボ、タルセバ	16				
乳がん (n=204)	ハーセプチン	20	アバスチン、アフィニトール、 カドサイラ、タイケルブ	1		
肝臓がん (n=32)	アバスチン、オプジーボ	9	アービタックス、ネクサバール	6		
甲状腺がん (n=45)	レンビマ	4	アーゼラ、ネクサバール	2		

■ 基数: n=30以上の癌種回答者

Q. 下記の項目にあてはまる、がんを治療するための「分子標的治療薬」の薬剤名をお選びください。(いくつでも)

※ 薬剤名は、「製品名(一般名)」で表示しています。【医師から「説明を受けたことがある」くすり】

「現在を含め、今までに服薬した経験がある」分子標的薬

- 乳がん「ハーセプチン」、肺がん「タルセバ」、大腸がん「アバスチン」が回答率10%を超えた。

■「現在を含め、今までに服薬したことがある」薬剤上位3回答

直近の癌種	回答率1位	(%)	回答率2位	(%)	回答率3位	(%)
大腸がん (n=141)	アバスチン	16	アービタックス	2	アドセトリス、オプジーボ、スチバーガ、ベクティビックス	1
胃(n=95)	オプジーボ、ザイラムザ	3	アーゼラ、アフィニトール、カドサイラ	2		
肺がん (n=37)	タルセバ	16	オプジーボ	11	アバスチン、イレッサ	8
乳がん (n=204)	ハーセプチン	17	アバスチン、カドサイラ、タイケルブ	1		
肝臓がん (n=32)	アバスチン	9	アービタックス	6	ザイラムザ、ネクサバール	3
甲状腺がん (n=45)	アーゼラ、レンビマ	2				

■ 基数：n=30以上の癌種回答者

Q. 下記の項目にあてはまる、がんを治療するための「分子標的治療薬」の薬剤名をお選びください。(いくつでも)

※ 薬剤名は、「製品名(一般名)」で表示しています。【現在を含め、今までに服薬した経験があるくすり】

「現在服薬している」分子標的薬

- 肺がん「タルセバ」、肝臓がん「アービタックス」、大腸がん「アバスチン」が上位3剤。オプジーボは肺がんで3%

■「現在服薬している」薬剤上位3回答

直近の癌種	回答率1位	(%)	回答率2位	(%)	回答率3位	(%)
大腸がん (n=141)	⇒ アバスチン	5	⇒ アービタックス、アドセトリス、 ベクティビックス	1		
胃(n=95)	⇒ アーゼラ、ザイラムザ	2	⇒ アービタックス、アドセトリス、 アレセンサ、イレッサ、インライタ、 オプジーボ、グリベック、タシグナ	1		
肺がん (n=37)	⇒ タルセバ	8	⇒ アーゼラ、アレセンサ、イレッサ、 オプジーボ、ザーコリ	3		
乳がん (n=204)	⇒ ハーセプチン	3	⇒ カドサイラ	1	⇒ アバスチン、タイケルブ、 パージェタ	(0.5)
肝臓がん (n=32)	⇒ アービタックス	6	⇒ アバスチン、ザイラムザ、 ネクサバール	3		
甲状腺がん (n=45)	⇒ アーゼラ、レンビマ	2				

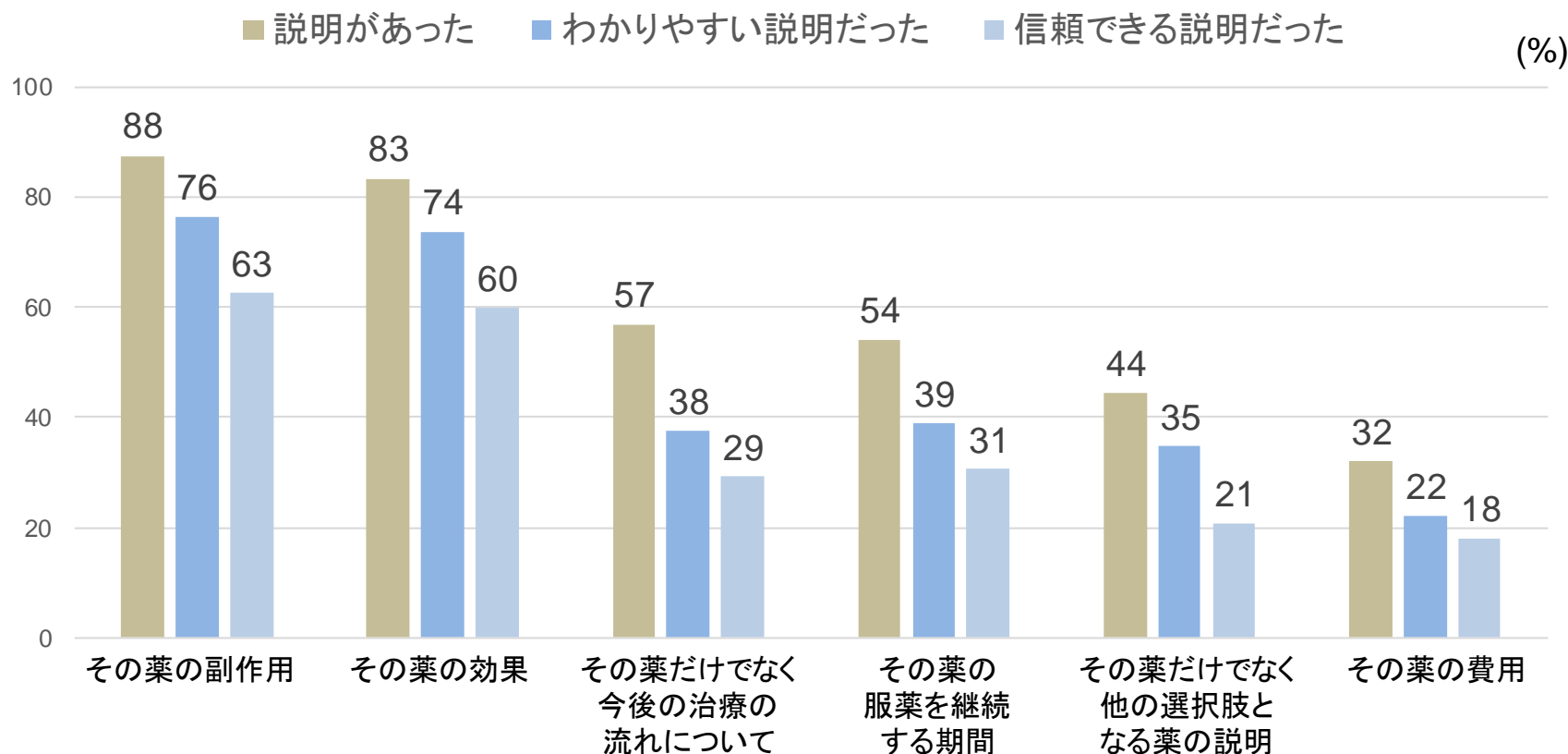
■ 基数: n=30以上の癌種回答者

Q. 下記の項目にあてはまる、がんを治療するための「分子標的治療薬」の薬剤名をお選びください。(いくつでも)

※ 薬剤名は、「製品名(一般名)」で表示しています。【現在服薬しているくすり】

分子標的薬の説明事項と印象

- 「副作用」「効果」の説明を受けた印象がある人は8割台。「治療の流れ」「服薬継続期間」が5割台。
- 説明に対するわかりやすさ、信頼性は、特に副作用、効果以外の面で、印象付けが難しい傾向。



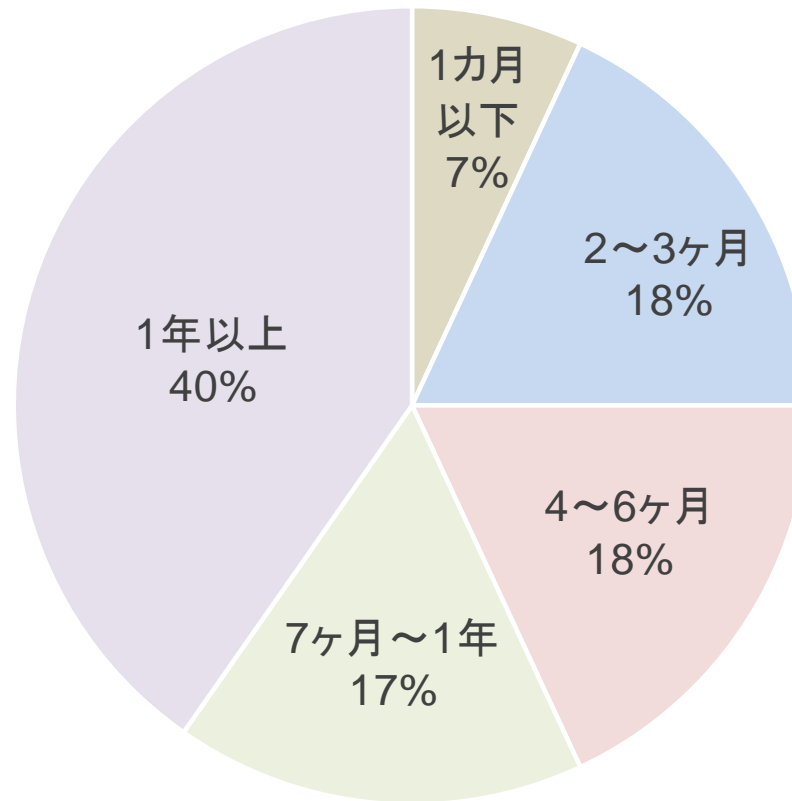
■ 基数: 分子標的薬を現在服薬している患者(癌種不問);n=72

Q.あなたが現在服薬している「●●●」の説明を受けたとき、医師から説明があったことをすべてお選びください。(いくつでも)

Q.あなたが現在服薬している「●●●」に関して、医師から受けた説明の評価にあてはまるものをお選びください。

分子標的薬服薬継続期間

- 分子標的薬を「1年以上」継続して服薬している人は40%



■ 基数: 分子標的薬を現在服薬している患者(癌種不問); n=72

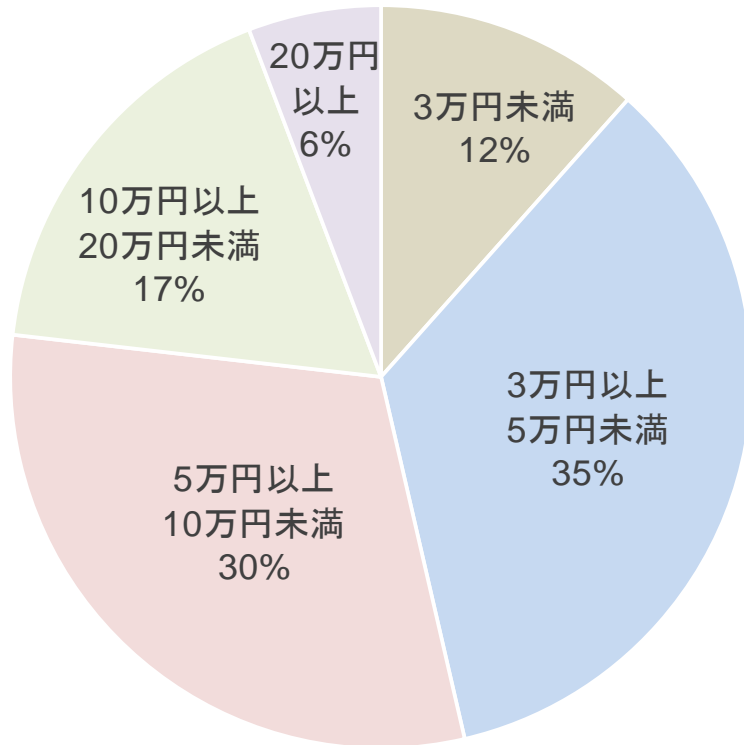
Q. あなたが現在服薬している「●●●」は、どれくらいの期間、飲み続けていますか。

※複数、服薬している場合は、長い方の期間をお選びください。

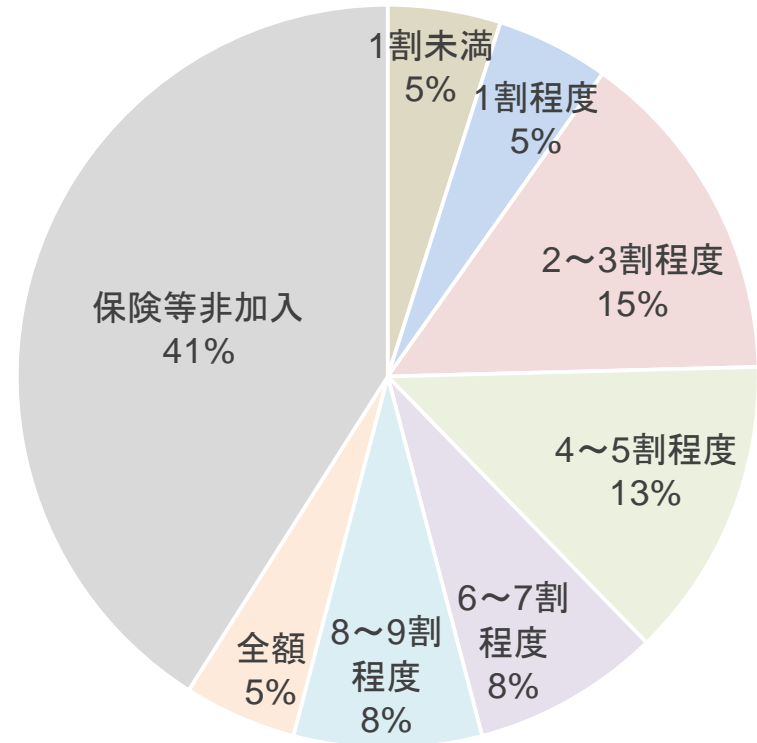
分子標的薬服薬者の医療費負担

- 月額「10万円以上」負担者は23%
- 医療費等が還付される保険に加入しているのは約6割。

■ 医療費負担額(月額実費)



■ 保険によって還付される割合



■ 基数: 分子標的薬を現在服薬している患者(癌種不問、「不明」回答者を除いて集計); n=69/61

Q. あなたは現在、がんの治療のために毎月いくらかの医療費を負担していますか。※治療費、薬剤費、入院費、検査費など、病院に支払っている費用の実際の実額の総額をお答えください。

Q. あなたが支払っている医療費は、がん保険などの医療保険、生命保険でどの程度戻ってきますか。